

ISDA® JAPAN MONTHLY UPDATE

2012年6月

コミッティ活動

Collateral: 担当 森田 (tmorita@isda.org)

6月11日、'[Collateral Settlement Timing Protocol](#)' が ISDA ウェブページ上で公表された。本プロトコルは、日本国債の決済期間短縮化に伴い、T+2 より長い期間に設定されている場合は T+2 に変更するよう CSA 契約の定義変更 (NY CSA, UK Annex, 1995 年版と 2008 年版の Japanese Annex) に対応するためのプロトコルである。既存契約で T+2 より短い期間 (T+1 など) に設定されている場合は、T+1 のままとし、長い設定期間に変更することはない。なお、本プロトコルでカバーされる担保は日本国債、米国債と現金 (全ての通貨) とし、それら以外の債券はプロトコルへの参加によって短縮されることはない。

Regulatory: 担当 森田 (tmorita@isda.org)

6月11日、Japan Regulatory Committee が開催され、ボルカールールを含むドッド・フランク法や欧州規制 (EMIR 等) など、欧米での OTC デリバティブ規制に関するアップデートが行われた。

6月22日には日本語を母国語としないメンバーを対象とした Regulatory Committee が開催された。Linklaters 和仁亮裕弁護士、宇波洋介弁護士が改正金融商品取引法の制定に基づく清算義務と取引報告義務に関する概説と現状について発表した。

6月25日、ISDA は金融庁総務企画局、水口参事官と面談した。ISDA からは Robert Pickel CEO が参加し、近々に公表が予定されている CFTC の域外適用に関するガイダンス (DF 法のスワップ条項の域外適用に関する方針) 等について、意見交換を行った。(上記の[域外適用のガイダンス](#)は 6月29日に公表された。)

Japan Regulator Committee の共同議長、中島 豊氏 (野村證券) が退任、西尾富士男氏 (三菱東京 UFJ 銀行) が新しく共同議長として指名された。

ISDA は中島氏のコミッティ活動への貢献に感謝するとともに、西尾氏の就任を歓迎いたします。

Regulatory / Operations: 担当 森田 (tmorita@isda.org)

6月20日、Japan Trade Repository and Reporting (TRR) Working Group を対象として、DTCC の Robert Green 氏による、アップデートミーティングが行われた。内容は、グローバルでの報告制度の現状、金融庁と DTCC の取り決め、金融庁の規定に対応したグローバルな取引情報蓄積機関 (GTR) の見直し、各アセットクラスにおけるターゲットとする業界におけるテストスケジュールと実際の運営等。

コミッティ並びに作業部会会合/コンファレンスの予定

Basel III – ISDA Symposium (日本語によるシンポジウム)	7月12日
Risk Management Working Group (英語と日本語による会議)	7月13日
Regulatory Committee/English Speaking Committee (英語による会議)	tbc